

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2023年6月25日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃 美 歌 54「喜 び の 日 よ」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃 美 歌 505「妙 なる 恵 み や」	一 同
教会学校	紙芝居「イエス様のための旅」	牧 師
讃 美	讃 美 歌 517「われに 来 よ と」	一 同
聖書朗読	マルコ1:16-20	
奨 励	主題説教	加 藤
主 題	「呼び掛けられる主」	
讃 美	讃 美 歌 380「立 て よ い ざ 立 て」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃 美 歌 546「聖 なる かな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝 5:1-11	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

6/25(日)聖日礼拝
/26(月)
/27(火)
/28(水)10-12: OBSｸﾗｽ
/29(木)8:30 OBSﾁｬﾍﾞﾙ
/30(金)
7/1(土)13-16子供ﾌﾞﾅﾊｳｽ



《祈りの課題》

- ① 加藤夫妻のために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

静思の時の為に

ヘブル書 Devotion 第4回

「神の安息に入る人」

(ヘブル4:1-11)

第1節冒頭の原文は「恐れましょう」という呼びかけで始まっています。いったい何を恐れようのでしょうか？第1節の「こういうわけで」が受けているのは、前の3章16-19節で簡潔に語られている、出エジプト後にイスラエルの民が不信仰に陥った結果、神の憤りを招いて、荒野で四十年間を過ごすことになった出来事です。

こうしてみると、恐れるべきは神の憤りのように思われるかも知れませんが、民数記には人口調査の記録があります。出エジプトを果たした時、戦に出られる民の数は603,550人でした(民数1:46)。後に、約束の地カナンに入る前の調査結果が記録されていますが、その数は601,730人(民数26:51)とあります。荒野での世代交代後にもかかわらず、違いは僅かで、人口がほとんど同じなのです。

これは何を意味しているのでしょうか。荒野は過酷な生活環境です。そこでの生活には様々な困難があったはずですが、主なる神の恵みによってイスラエルの民がしっかり守られたということを表わしているのです。主なる神は水がなくなれば泉を湧き上がらせ、民が肉を食べたいと言えばウズラを降らせ、日々のマナは約束の地に行き着く日まで決して降り止むことはありませんでした。何という恐るべき愛の神でしょうか。この方が言われるのです、「今日、もし御声を聞くな、あなたがたの心を頑なにしてはならない」(ヘブル4:7)。

今回の聖書箇所には「安息」という言葉が8回出てきます。これは三つの意味で使われています。第一は「約束の地カナン」の意味で(3b,5,6節)、第二は天地創造七日目の「安息日」(9,10節)、そして第三がキリストの贖いによる「神の安息」です(1,3a,11節)。このように、「安息」は、単なる休止や停止ではなく、完了・完成の後にもたらされる充ち足りた休息を意味する言葉であることが分かります。

荒野を四十年のあいだ旅したイスラエルの民の内、安息の地カナンに入ることができなかった人々は、自分の思いを優先させ、神の約束を信じなかったからです。イエス・キリストによって示された、恐るべき愛の神の約束を信じる人は、喜びと平安に満ちた神の安息に入ることができるのです。ヘブル4章1節のみことばは人生の旅路を歩むすべての人々に、このことを呼び掛けています。「こういうわけで、私たちは恐れる心を持つではありませんか。神の安息に入るための約束がまだ残っているのに、あなたがたのうちのだれかが、そこに入れなかったということのないようにしましょう。」

【祈り】天の父なる神様、私たちの人生は明日をも知れぬ荒野に喩えられますが、恐るべき愛の神様が共にいて下さることに心から感謝致します。アーメン。